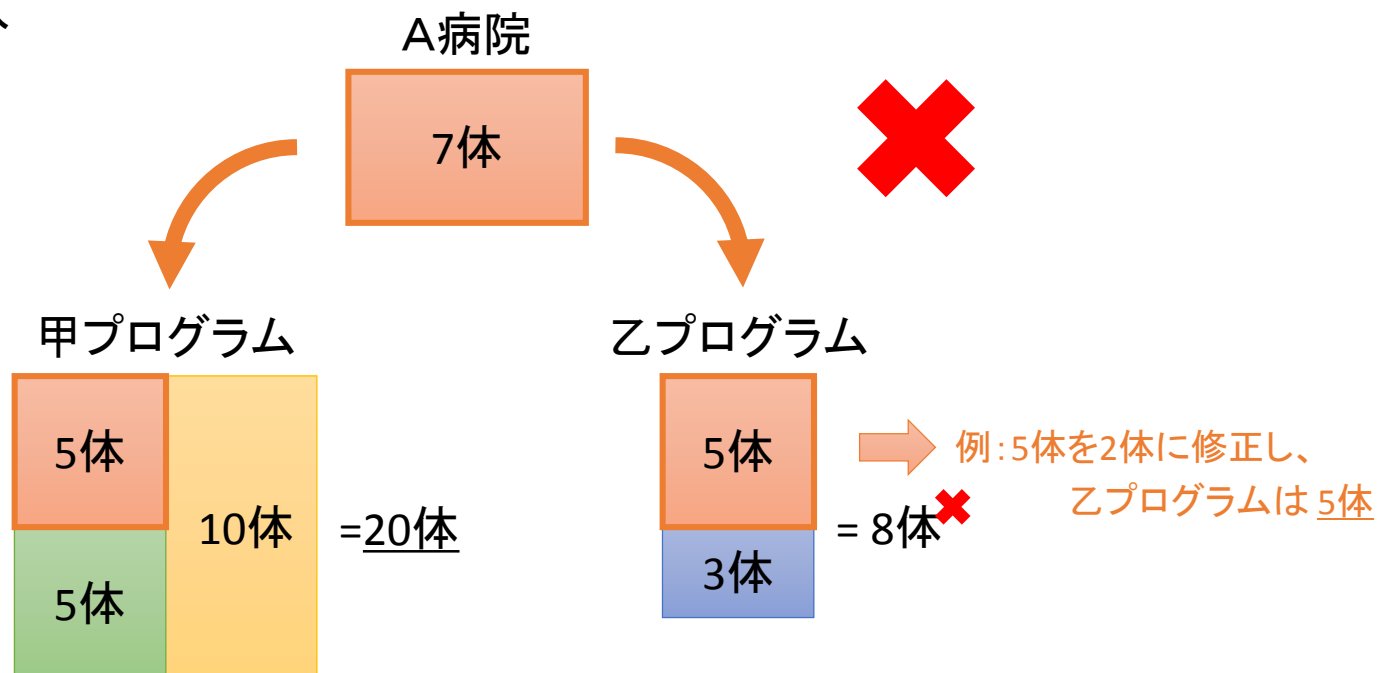


研修プログラム審査の流れ

STEP.1 剖検数のチェック

各プログラムに按分され、合算された研修プログラムとしての剖検数が、実際の数より大きい数値になっていないかを調べます。

例: 剖検数の按分



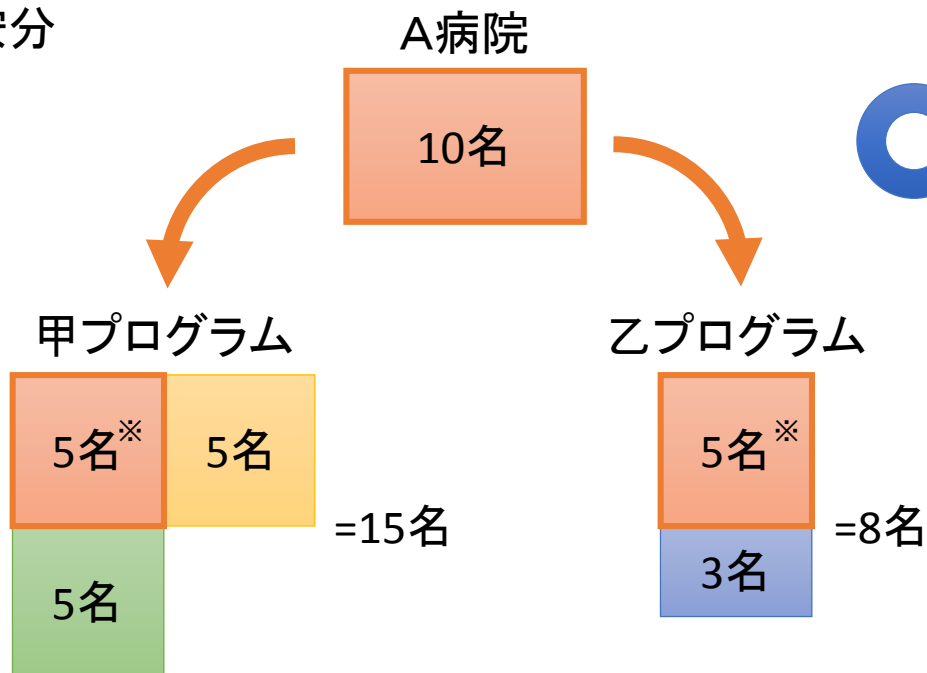
A病院は自施設の剖検実績(7体)を超える数値を、甲・乙の研修プログラムに按分しているため、修正が必要になります。

研修プログラム審査の流れ

STEP.2 指導医数のチェック

各プログラムに按分され、合算された研修プログラムとしての指導医数が、実際の数より大きい数値になっていないかを調べます。

例: 指導医数の按分



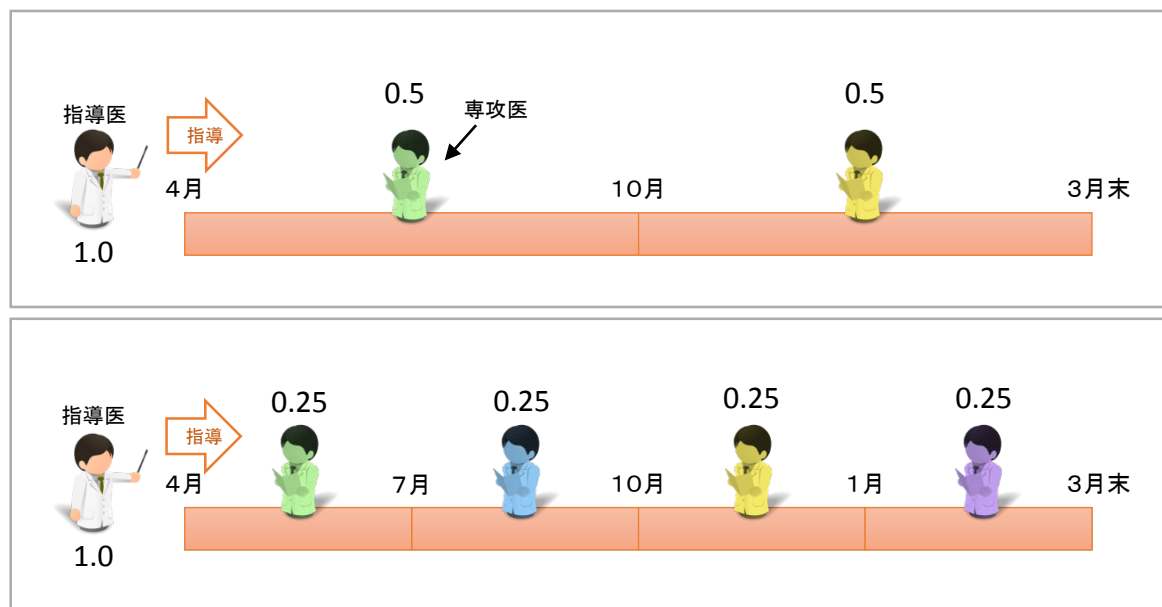
甲プログラムは、剖検数20体、指導医数15名であるため、1年次あたりの専攻医募集定員は15名と算出されます(剖検数と指導医数を比較し、低い方の数値が定員になります)。同様に乙プログラムは、STEP.1にて剖検数が5体となっているので、上図において指導医が8名いますが、低い方の数値をとり、募集定員は5名になります。

研修プログラム審査の流れ

【解説】按分された指導医数によって決まる専攻医の受入 ①

研修プログラムに按分した指導医数によって、そのプログラムから受け入れることができる年間の専攻医の人数が決まります。

例：按分された指導医数が1.0の場合



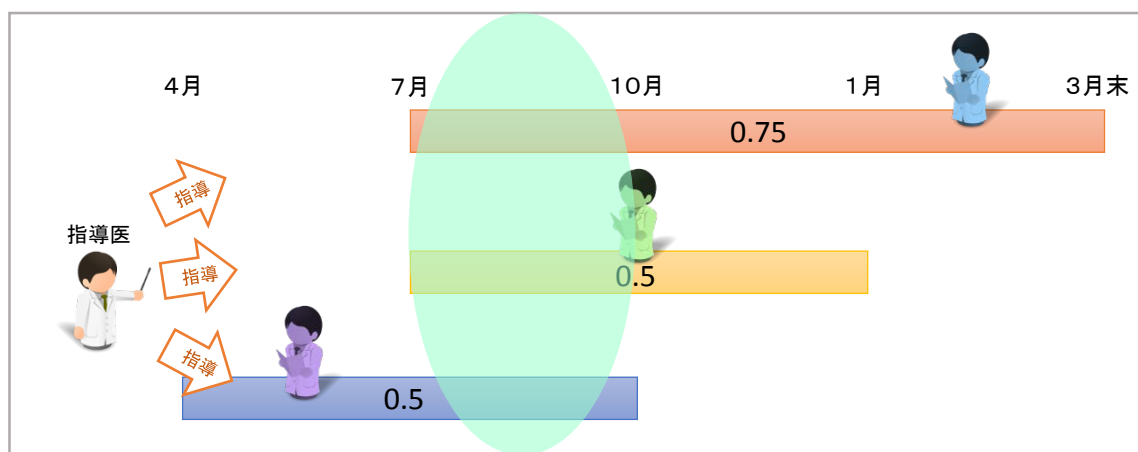
専攻医は派遣される月数を12で割り、1名の指導医のリソースの何割を消費するのかを数値で示します。按分された指導医数が1名の場合、上図のように、合計で年間1名/人の専攻医を受け入れることができます。

研修プログラム審査の流れ

【解説】按分された指導医数によって決まる専攻医の受入 ②

複数の研修プログラムに相乗りする場合、同時に多くの指導医が派遣されてくることが想定されますが、1名の指導医が一度に受け持てる専攻医は3名までです。

例：7月から10月まで、3つのプログラムから同時に派遣された場合



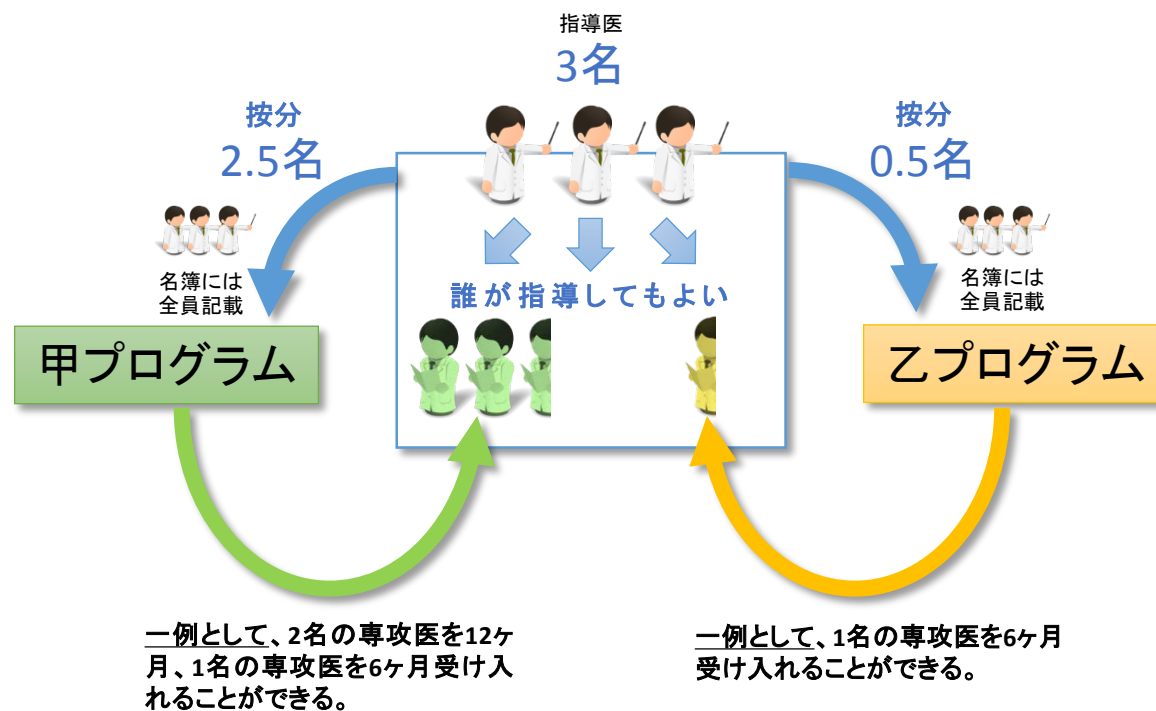
緑色の期間に、これ以上の専攻医を受け入れるためには、他の指導医が担当する必要があります。

研修プログラム審査の流れ

【解説】按分された指導医数によって決まる専攻医の受入 ③

各プログラムに按分した数値に関わらず、研修プログラムの名簿(別紙4)に記載された指導医は、そのプログラムの専攻医を指導することができます。

例:3名の指導医を擁する病院の場合



研修プログラム審査の流れ

STEP.3 申請書類と研修プログラム冊子の照会

CSVで専用サイトにアップロードされた申請書類と、研修プログラム冊子の内容に齟齬がないかを確認します。

